

十日市場駅周辺「こどもの居場所づくり」

緑区十日市場駅周辺では、地域、学校、関係機関が連携し、「こどもの居場所づくり」に向けた検討を進め、平成30年12月にこどもの居場所「こども村」を十日市場ケアプラザに開設しました。

1 背景

緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」の地区別計画推進委員会の中で、数年前から地域の子どもの状況に関する課題が提起されていました。

その課題解決に向けて、平成30年7月に十日市場駅周辺「こどもの居場所づくり検討委員会」を発足し、各地区の主任児童委員や子育て支援に携わる方々、十日市場・新治小学校、十日市場中学校の校長や十日市場ケアプラザ・緑区役所の職員らが7月から4回に渡り、目指す方向性などの協議を重ねてきました。

この検討委員会では、「子どもの支援に限らず、担い手発掘も含めた高齢者等の活躍の場の確保」や「多世代交流」なども視野に入れた「こどもの居場所」の設置を目指すことを確認し、地域の身近な地域福祉・保健の交流拠点である十日市場地域ケアプラザにこどもの居場所「こども村」を開設することになりました。

2 具体的取組

(1) 対象

基本的に小学生を対象とします。

(2) 実施内容

基本的には、こどもたちが何をしても良い「居場所」とし、進めていきます。

(運営の状況等により、必要な対応を考えながら、充実を図ります。)

(3) 開催日及び会場（平成31年3月までは試行として、次のとおり実施します。）

原則 第2・4水曜日（12月は1回のみ）

会場は十日市場地域ケアプラザ ボランティアコーナー

(4) 運営スタッフ

検討委員会メンバーを中心に、地域の支援者を募りながら、体制の充実を図ります。



▲オープニングイベントの様子